

市場のあり方戦略本部（本部長インタビュー）議事概要
＜築地市場関連事業者等協議会＞

平成29年5月17日（水）
開会14時54分、閉会16時10分
築地市場市場長室

【出席者】

- 築地市場関連事業者等協議会
大野精次会長ほか
- 東京都
中西副知事（本部長）、中央卸売市場長、中央卸売市場次長ほか

【議事概要】

（東京都）

- ・築地市場の事業者の皆様には、豊洲市場の移転に伴い、様々な御心痛をおかけしている。
- ・現在、専門家会議、市場問題プロジェクトチームにおいて外部有識者による検証、検討が進められている一方で、庁内組織として4月に市場のあり方戦略本部を設置し、豊洲市場や築地市場の課題、今後の市場のあり方について検討しているところ。
- ・検討を進めるに当たり、何よりも築地で現在、仕事をされている皆様の意見をしっかりと聞くことが大切だと考え、こういう場を設けさせていただいた。ぜひ忌憚ない意見をお聞かせいただければありがたい。

（関連事業者・その他団体）

- ・我々関連業界の思いを聞いていただく機会を設けていただき感謝する。我々関連事業者はいろいろな職種に分かれているため、各団体の代表も出席している。これを機会に、今後も常日頃から業界との密接な連絡調整を、頻繁に行っていただきたい。
- ・昨年8月31日に知事が移転延期の決定をされるまで、造作工事や習熟訓練など、東京都も含めて、業界内部でもいろいろと調整してきた。まだまだいろいろな課題が残っているが、そういった中で突然の移転延期の決定ということで、業界としても非常に不安と混乱の中にある。ぜひ、1日も早い決定をしていただきたい。
- ・移転延期の決定から今日まで、特に豊洲の安全性やそれに伴う風評が非常に広がっている。今後、仮に豊洲で商売をしていくに当たっても、かなり問題が生じてくるのではないかと。
- ・豊洲に移転をすとしても、あるいは築地に残るとしても、そうした安全性に対する風評について、我々業界はもちろんだが東京都が中心となって努力して、一層の払拭等をお願いしたい。
- ・最近の市場問題プロジェクトチームも含めた東京都の動きは、業界内部の不信感や、極端な場合は分裂にもなりかねない。いずれの結論になるにしても、業界の一体感の

欠如を、東京都が中心になってぜひ払拭していただきたい。

- ・市場問題プロジェクトチームで検討していた豊洲市場の疑問点に対する回答を、ホームページ等で示されているが、我々もつぶさに見ることもできないため、まだまだ疑問を持っている方がたくさんいる。従来の疑問点がどう解決されたのか、あるいはまだどんな課題が残っているかなど、詳しい説明会等を開いていただき、十分な説明をお願いしたい。
- ・市場問題プロジェクトチームが報告書素案の中で示した築地の改修案については、いろいろな課題があって非常にリスクが大きいと考えている。万が一、ハード面がこのとおりでできたとしても、物流等含めたソフト面がほとんど検討されておらず、実現性は非常に乏しい。このリスクを踏まえてまで、我々はこの築地の改修案に乗るわけにはいかない。
- ・また、飲食・物販については種地とするため、場外市場の築地魚河岸のほうに移転するようになっているが、そのまま場外に置き去りにされるんじゃないかという受け止め方ができる。関連事業者としての飲食・物販はもう要らないという捉え方をされているのではと思っている。最初の築地再整備案の際、物販は一旦移転している経緯もあり、飲食・物販をないがしろにしているのではという懸念を持っている。そういった意味でも、私どもは基本的には豊洲への移転しかないと現在考えている。
- ・移転補償については、いろいろやっていただきありがたいと思っているが、補償スキームに乗らないケースというのが個々に出てきている。もう少し幅広く検討をお願いしたい。

(関連事業者・その他団体)

- ・私どもは、全国の産地、出荷者から荷物をお預かりし、築地市場に運んでいるとともに、築地市場から量販店をはじめ、各お客様に届ける仕事も同時にさせていただいている。
- ・昨日の産地の事業者ヒアリングでも出ていたが、今は産地も設備、施設がどんどん新しくなっており、品質管理については非常に努力されている。また、私どもトラック事業者も、デジタル管理された冷凍、冷蔵、チルド帯の3温度帯でそれぞれコントロールし、適切な温度で産地から築地まで品物を運んでいる。
- ・しかし、築地に来ると同時に温度管理はゼロになってしまう。野ざらしだというのはそのとおりである。今やコールドチェーン化するというのは農水省はじめ世界的に考えても市場の絶対条件であり、この築地のような市場は先進国にはまずないと思ってもらってよい。
- ・この築地でウイング車を使い輸送する場合、ウイングを広げて荷卸し、荷積みをするのが効率的であるが、温度管理をされた市場に行くとどうしても後ろからしかバースにつけて作業ができなくなるので効率が悪くなるのは事実である。そのことから、豊洲市場はバース数や作業スペースが十分ではない。また、環状第2号線、補助第315号線に分断されており、築地のように平面ではなく重層構造であることから、我々輸送にとっても非効率的である。しかし、築地か豊洲かという話になれば、今の世の中の衛生基準、量販店の要望等も考えると、築地の現状は容認できない。
- ・市場問題プロジェクトチームの築地再整備案は物流について何も考えられていない。

ローリング方式で再整備を行う場合、現在使われている面積より狭くなり、また、輸送車両に加え工事車両も入ってくるため、築地市場からはみ出して新大橋通りや晴海通りにトラックが溢れるといった事態も懸念される。

- ・また、仮にローリング方式で7年で再整備ができるとしても、その7年の間に築地市場は衰退するだろう。そうであれば、問題はあるが豊洲に移転し、新しい低温管理された施設の中で、新しい市場のあり方、新しいビジネスモデルを作り上げていき、進化していくということが必要だろう。
- ・豊洲は確かにコストはかかるが、コールドチェーン化もしてない、閉鎖型でもない築地と豊洲のコストを比べること自体、あまりに価値観が違い過ぎる。こうした議論より、そのコストをどうやって吸収して利益を出していくのか、卸、仲卸、加工等といった市場全体で新しいビジネスを考え、努力して黒字化していくという方向にそのエネルギーを使うべき。

(関連事業者・その他団体)

- ・我々は買荷保管業という職種で、全部で4団体あり、買出人の方のための保管業として、各所から荷物をお預かりし、それをお客様に提供している。
- ・今の輸送トラックはほとんどが保冷車並びに冷凍機付きであり、スーパーはそれでは入れられないというところもたくさん出てきている。そういった面からも、買出人のお客様にとって一番大切なのは、コールドチェーンであるが、現在の築地市場はそうっていない。
- ・現在、豊洲市場において、お客様のトラックをピーク時の時間帯にどのようにして中に入れるかという割り付けの作業を行っているが、場所によっては、入るべき台数が入らない等の問題も発生している。今は、お客様の希望も踏まえ、そういったところはどうか考えながら検証作業を行っているところ。
- ・豊洲市場が安心・安全な場所であれば、私たちはやはりそちらのほうに行きたい。

(関連事業者・その他団体)

- ・今年の3月に行った飲食業協同組合の組合員への意向調査では、想定どおり、8割方は築地に残留したいという結果が出た。
- ・平成3年に21世紀の基幹的市場としてというパンフレットを東京都が作り築地再整備に向けて、ローリング方式での工事が行われるはずであったが、その直前に工事がストップし、いろいろな検討がなされ、最終的に豊洲となった。豊洲には当時から、土壌汚染の問題や道路による分断の問題についての認識はあったが、土壌汚染は今の日本の技術をもってすれば解消されるという発言や築地の老朽化もあり、仕方なく豊洲へ、という流れになった。
- ・飲食のお客様は、市場で働いている人、買い出しに来る人、全国から集まってくるトラックの運転手さん、最近では外国人も多い。そうした中で新しい市場に行ったらそういう人々を満足させられる内装はどのようなものかと研究し、右往左往しながら準備を行っていた。そうした中でお金がかかり過ぎるなど我々にとってはあまり関係のないように思える理由によって、どこの店もほとんどでき上がってきているタイミングで移転延期となった。
- ・移転延期の2、3日後に地下水が溜まっていることがわかり非常に驚いた。さらに、

- 翌年の1月には土壌汚染も大変なことになっていることもわかり、やはり豊洲では駄目なのではないかという話まで出てきて、我々としてはどうすればよいかわからない。
- ・市場問題プロジェクトチームで小島顧問が築地再整備案をけしかけるように持ってきたが、業界の合意が取れない中では築地再整備はできない。また、100%土地を使用している築地市場においてローリング方式の工事は不可能であり、これをやろうとするとまた20年30年かかってしまう。今、携わっている人間はもういなくなってしまう。
 - ・豊洲の土壌汚染問題については、専門家会議の平田さんの提案する対策を信じて、皆さんいろいろ意見がある中で早く移転すべきだと言っており、私も同意見。
 - ・70年80年築地でやってきた人間にとっては、新しい場所というのは非常に不安ではあるが、その不安を越えて、新しい市場で顧客をどうやって捕まえていくのかというのが我々の仕事であり、それが市場のための仕事でもあるわけなので、もう迷うところはないと思う。止まっている方がおかしい。
 - ・豊洲市場への移転を予定していた11月7日以降に、築地市場8号棟のダクトが壊れたので、東京都に補償してもらい修理した。その後、6号棟のダクトも壊れ、かけなくてもよい無駄なお金が徐々に増えている。今後、移転延期期間が延びれば延びるほど補修箇所も増えていき、このような無駄なお金が発生してしまう。

(関連事業者・その他団体)

- ・我々、築地市場加工地域協議会は築地市場で加工業を運営している会社を中心である。例えば、鮮魚の下ごしらえをしてホテルに納める業者や、焼き魚や煮魚などコンシューマー向けの商品を作る業者、サケの切り身やカマボコの加工をする業者など様々である。
- ・加工パッケージ棟は、中の業務がいろいろと各社バラバラで、設備投資の負担がかなり大きい。仕事の内容によって温度帯も違い、冷凍倉庫などを入れることから、建築の途中から工程を管理する必要があり、当初から前向きに細かく打ち合わせしながらようやく完成させた。できあがった建物に設備も入れて、さあテストして営業できるかどうかやってみようというところで延期になってしまい、各社とも非常に困っている。設備投資をそれだけやったということは、意識の差はあるが、皆さん豊洲に行くつもりで準備をし、前向きに東京都と協力してここまでやってきたということ。
- ・業務によってレベルもいろいろであるが、加工業というものは魚に手を加えるので、今、一番問題になっている食の安心・安全ということであると、加工パッケージ棟は一番気を遣わなければいけない施設であると思う。
- ・加工パッケージ棟をどうするかについては、まず衛生の観点からきちんとしたものを作らねばならないという問題意識からはじまり、衛生コンサルを使いながら各社の業務内容などをお金をかけて細かく調べた。この作業は非常に大変なものであったし、各社大変な思いで計画を作り、今の形になるまで二転三転してようやく決まったという経緯があるので、ここにきての移転延期は脱力感が半端ではない。
- ・また、11月7日から豊洲が稼働するという前提で各社事業計画を立てており、お客様にもそのように御案内もしている。それが全て御破算になり説明の仕様がないう状態になってしまっているの、我々とする1日も早く移転を実現し、当初の計画どおりにやらせていただきたい。

- ・アメリカ資本のホテルなどは、きちんとHACCP（ハサップ）とか、アメリカの衛生基準のものを取らないと業者から外すくらいのことを言ってきている。また、病院食をやっている会社は低温管理がされていない築地にはそもそも来ていない。5℃設定の荷捌きスペースがないと業者として使えないと言われており、このような現状をおそらく理解されていないのではないかと。今時、ドッグシェルターやコールドチェーンも当たり前である中で、産地の方が築地の現状を嘆くのはよくわかる。ぜひ、お願いしたい。
- ・コストの比較で、豊洲がこれだけかかるとか、築地はこれだけしかかかっていないという話があるが、冷房すれば金はかかるもの。また豊洲は狭くてマグロが切れなかったり荷捌きスペースの問題があるとか、これからも様々な問題は出てくるとは思うが、これは環境が変わるんだからある程度は仕方がないのではないかと。
- ・築地に残留したい方というのは、築地移転がなくなれば今のスタイルのまま仕事を続けられると錯覚されているのではないかと。市場問題プロジェクトチームで出された築地再整備案を行うにしても、営業許可、保健所の許可は多分出し直しになると思われる。その時に、どういう条件で仕事をしなければならないか皆さんにはっきり言わないと誤解している方がいると思う。
- ・今度、衛検主催でHACCP（ハサップ）の講習会を全組合員対象にやるそうなので、そこで農水省のHACCP（ハサップ）導入推進の方針と、築地残留の場合でも今のスタイルのままでは仕事ができないということを説明し築地再整備のイメージを変えていただきたい。
- ・コールドチェーンは金がかかるじゃないかと、築地より何倍もかかってどうするんだという話があるが、これは世の中の常識、流れなので仕様が無い。うちもドッグシェルターを作るのに試算すると1億円以上かかるし、電気代も年間何千万円になる。作ったからといって保管料を多くもらえるわけでもない。ただ、ここ二十数年、ドッグシェルターのない冷蔵倉庫を作る会社は1社もない。なぜならばそれが常識だからだ。
- ・市場問題プロジェクトチームの築地再整備案はとんでもない話だと思う。技術的にはできるかもしれないが、そもそも計画ができない。業界調整が絶対にできない。これはお金の問題でも技術的な問題でもない。

（関連事業者・その他団体）

- ・築地で再整備というのは完全に無理。小島顧問はこれまでの築地の経緯を何も知らないのではないかと。現場のことをもっとよく知ってもらわないと。何か冷やかしてみたいに喋られるとえらい目に遭う。これはできない。
- ・豊洲にはあれだけ綺麗なものが出来ているんだからもう早めに行かせて欲しい。早く判断を出してもらいたい。同時に、我々の仕事は仲卸のサービス業みたいなのところが多分にあるので、希望としては仲卸が引越す2、3週間前には先行して入らせていただき段取りをつけさせて欲しい。今は、2、3歩歩けば欲しいものはすぐに手に入るが、同時移転ではそうはいかない。
- ・豊洲移転が延期となったことで、みんながっかりしてだらけてしまった。これをもう一度そちらに向けるのは大変なこと。社員なども含めて豊洲の中を見たいという人達への対応方法を考えてもらわないと、みんなその気にならない。

- ・築地で働いている人たちの中には、移転がはっきりしないのであれば、ほかで働くことも考えなくてはならないと言っている人もいます。これはいろいろな面でマイナスだ。あれだけの金をかけて使わなかったらもったいない。使わなければ使わないだけ金はかかる。
- ・豊洲は使いにくいとか何だかんだ言っている人もいますが、新しいところに行く以上それは当たり前。都の前の担当者は微調整させてくれ、みんなで知恵を出し合おうと言ってくれていた。そういう形の言葉を今の担当者からも言っていたかないと、都が何でもやってくれるとみんな甘えてしまう。そこをしっかりと意思表示をしていただきたい。
- ・都民の市場と考えるのではなく、首都圏全体の市場として、もっと広い視野を持って真剣にみんなで市場をなんとかしようと考えなければ、出来上がった市場に魂は宿らないと私は思う。

(関連事業者・その他団体)

- ・今、市場を取り巻く環境は、農水省の動きもあり大変厳しい状況である。市場外流通、物流の形も変わり、アマゾンが参入するような時代なので、この築地の現状のままであれば、おそらく市場の価値というのは本当に無くなってしまう。
- ・市場の流通量、取扱量が減っている一つの要因としては、築地が今、世の中のニーズに応えられていないことにある。これにより、築地を通すことができない荷物というのがたくさんあり、卸売業者はじめ、失ってしまった荷物というのは非常に多いはず。それを市場に取り戻すことができるかどうかは、豊洲に行って低温管理され、また、衛生、品質の管理も厳しく行き届いた新しい市場で、どれほど市場外に流れてしまった荷物を市場に呼び戻して、新しいビジネスモデルを作っていけるかというところにかかっている。
- ・観光地としてノスタルジックで昭和な築地市場というのは魅力があるし、貨車で入ってきたプラットホームのある、この美しい形というのも確かにレガシーとして私たちも認めるところだが、やはり市場というのは生き物であって、その時代時代に適していかなければ置いていかれてしまうのも事実である。豊洲に対する反対理由は、築地にあぐらをかいているように見えてしまう。現状もっと世の中は変わっているということを確認していただきたい。

(関連事業者・その他団体)

- ・豊洲という結論になった時、我々は、もう一度組合員のモチベーションを上げなければいけない。目標を作る上でも早く開場の日を定めていただきたい。
- ・昨年までは豊洲に入る際に許可が必要で、11月7日にオープンと言いながら、どんな市場でどこに自分の店があるのか知らず、オープン1週間前ぐらいにならないと入場が許されない状況であった。今後、豊洲に決まったら、工事業者だけでなく、我々従業員も自由に出入りができるシステムを作ってください、新しい市場をもっと親しみやすいものにして欲しい。それにより、あの立地の中で自分たちがどういう行動をしていけば良いのかということが直にわかってくると思う。

(関連事業者・その他団体)

- ・都民の目もたくさんあるんだから、豊洲に行くと決まれば、都民にどんどん見せてあ

げるべき。そうしないと、都民を味方につけようと言っているけどこのままでは無理。いろいろな団体があると思うが、これだけ良い市場ができたんだから安心だよということを見せたほうが良い。

- ・先代から、昭和10年の日本橋から築地への移転時には3年苦勞したと聞いた。でも太平洋戦争が始まり、食料品の配給統制もあったから闇商売もでき苦勞は短かった。今回の移転は、当時とは違い、配給統制もないし商業施設も周りにいっぱいできているので、それと競争しなければならない。その覚悟を持たせるためにも、早め早めにみんなに参加意識を持たせるということをお願いしたい。

(関連事業者・その他団体)

- ・豊洲市場については、各業界いろいろな不満がある中でも、業界同士や東京都とも調整し、卸売業者はじめ、豊洲でどう商売していくか戦略を立てている。関連事業者も、加工は特にそうだし、飲食、物販も戦略を立て、市場としての全体的な落ち込みを少しでもカバーしていこうという気持ちでやってきている。
- ・それが今回示された築地再整備案になるのであれば、例え10年で実現したとしても、その10年間で、今以上に落ち込んでしまうと思う。そういう意味でも、早急に豊洲へ移転して、各社の戦略を信じてやっていくというのは、市場にとっても一番良いだろう。
- ・最近、飲食では外国人観光客が増えている。どうしてあれだけ繁栄したかというのと、バブルがはじけ経営危機に陥った時に、魚河岸横丁ということで対外的に宣伝を打ち、お客さんを呼び込んでいったからである。そういう努力があるからこそ今日があるわけで、そういう意味でも皆さん、昔から将来の商売を考え、自分の経営を考えてやっている。これが突然、移転延期となり将来どうなるかわからないことで非常に戸惑いを感じている。そこをよく理解していただきたい。

(関連事業者・その他団体)

- ・豊洲移転が決まった時、ほかの市場を使っているスーパーや他県の量販店が、豊洲へ移転したら自分達も仕入れがしたいとわざわざ築地に入ってきた。豊洲に車を停める場所が欲しいといってくる業者も未だにいる。そういうことも考えていただき、ぜひ豊洲を実現させていただきたい。

(東京都)

- ・豊洲に行くことを考えて、今から築地に入ってくる方がいると。

(関連事業者・その他団体)

- ・おります。

(関連事業者・その他団体)

- ・過去に、築地が狭くて車が入れず結局は築地に来なくなるということもあった。車が入れないからほかの市場に行き、その市場が小さく商品が集まらないため物が足りなくなり直接産地へ、と自社で集めるルートを作り、結局築地は経由しなくなってしまう。
- ・商売も競争なので新しい人がもっと入ってこられるような形にしておかないといけない。そういうことも含め、この先、どうやっていくのか市場全体で考えていかないといけない。

(関連事業者・その他団体)

- ・使用料の単価は現在のままだと言ってもらえたから移転計画をスタートできたが、市場問題プロジェクトチームの説明を聞いていると、突然何を言い出すかわからないという不安感がある。今さら値上げと言われても、我々の事業計画が全く成り立たなくなってしまうので、どういう方向性であっても、今までの約束は約束として、そこはきちんと踏まえてやっていただきたい。

(関連事業者・その他団体)

- ・私どもが東京都と積み重ねてきた事実は、議事録として残っているもの、まだ議事録まで落としていないものを含めてたくさんある。市場問題プロジェクトチームの方たちは、そうした積み重ね、この十数年重ねてきたことをまったく無視したところで発言されている。もちろん経済効率性といった側面からの議論は当然であるかもしれないが、今まで積み重ねた事実をまったく無いものとして発言するのはやめていただきたい。
- ・東京都が当初出された新市場のコンセプト、基本設計、そういったコンセプト自体が市場問題プロジェクトチームの築地再整備には無い。まったくの改修案みたいになってしまっている。最初に東京都が打ち出した市場の新しいコンセプトは、非常に素晴らしいものであったと思う。ハブ機能を備えた日本最大の市場、それを守っていきたい。
- ・確かに産直とか、物流は多様化しているが、全てを産直で賄うことは先日の知事ヒアリングでスーパーさんも答えていたが有り得ない。目玉商品を作って一部を産直にすることはどこでもやっているが、100%産直で賄うということは、経済効率性からいっても無理なところ。市場こそ、全ての日本、あるいは海外市場からのいわば産直の大元であると思っている。この築地にすべてのものが集まるというハブ機能によって、市場の価値は非常に高いものになっていくであろうし、それをやはり守るべきではないか。

(関連事業者・その他団体)

- ・産直も難しいし、無農薬だって難しい。実際に産直をやっている方の話を聞いても儲からないと言っている。長くやるなら、やはり市場がなければ無理。ましてや温度管理か何かの問題が出てきたら絶対に無理。

(関連事業者・その他団体)

- ・市場問題プロジェクトチームの先生方は、市場は将来的には無くなるとか、無くてもいいと思っているとしか感じられない。極端な言い方だが、そういう発想があつての発言かなと。

(関連事業者・その他団体)

- ・市場の整備計画は何回も何回も変わってきた。平成初期の築地再整備、その後は、豊洲新市場の基本計画、都議会による築地再整備の晴海案と。逆に聞きたいが、何でこんなにコロコロ変わるのか。その度に、我々が一生懸命やってきたものがドンドン駄目になってしまう。
- ・今度はもう最後だと思っている。豊洲市場はしっかりとでき上がったではないか。すぐそこにあるのになぜ行けないのかというのが私の一番の気持ち。

(関連事業者・その他団体)

- ・ストップをかけたのは大失敗。
- ・建物の下に地下ピットがあるというのは、通常のビルであっても常識。最悪の場合を考えてそこに水が溜まり、それは掻き出すわけだから。

(関連事業者・その他団体)

- ・アイデア段階だが、以前、いかに収入を増やし業界の負担を下げていくかということ
を議論した。例えば、味の素スタジアムみたいに名前を売るとか、6街区の屋上をゴ
ルフ場の練習場にして利用したらどうかとか、花火大会の入場料を取るかとか。実現
性やコストの問題で難しい面もあるが、そういうことも一つの方法かなという感じは
する。

(東京都)

- ・そういうことも皆さんとともに我々も考えないといけない。
- ・本日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。

(以上)